

重点目標	交通事故の防止と交通道德の育成		P
現 状	自転車運転中の事故が年間10件近く発生している。自転車で斜め横断をしたり、右側通行をする生徒がおり、市民から苦情が寄せられる。また、生徒を送ってくる保護者の車のために渋滞が起こる。		
具体的な目標	事故を無くし、交通ルールを守れる生徒を育成する。		
目標達成のための 方策	街頭指導を増やし、安全な通行を呼びかける。保護者へに対して文書を通して、学校付近での交通について協力を呼びかける。		
具体的な取組状況	今年度は街頭指導を計5回、延べ20日間実施した。保護者への文書も計6回配付した。		D
達成状況	今年度の交通事故は、現在のところ1件である。たった1件とはいえ、自動車との接触事故であり、一歩間違えば命に関わるものであった。自転車の通行に関してはやはり苦情をいただくことがあった。生徒を送ってくる保護者の車の数は増える傾向にあり、なかなか改善しない。		
自己評価	評価	根拠	C
	B	鳳中学校が無くなり、生徒の通学路で中学生と出会うことが減ったために交通事故が減少したものと思われる。自転車の右側通行は時々見られ、しっかり改善されたとは言えない。保護者の車に関しては、街頭指導をしていないときはあまりルールが守られていない。引き続き根気強く協力を呼びかけていきたい。	
↑ 評価基準 ↓	A：具体的な活動がなされ目標を達成できた B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない C：具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない		
学校関係者評価と 意見	評価	意見	C
	B	交通マナーなどは、しっかり改善されたとは言えないが、交通事故は減少した。冬季についての保護者の車に関しては、引き続き根気強く協力を呼びかけていくことが必要。	
自己評価及び学校 関係者評価に基づ いた改善策	街灯指導や文書による呼びかけの他に、様々な機会をとらえて交通安全を呼びかける。また、街灯指導の配置場所を再検討する。冬期間の降車場所について、保護者への協力を呼びかけの機会を増やしていきたい。		A